



五月に入りました。「五月晴れ」「さわやかな緑の季節」等々…。五月のイメージはとて希望に満ちています。「それなのに、この不安定な気候は何なんだろう？」よ不服に思っていました。

一日の朝の会の課題、五月の中から、標題の『五月綿入』という言葉でSさんが話して下さいました。「若葉冷え」と言って、若葉の季節には冷えることもあるそうです。自然と関わりを深く持つて生活してきた私たちの先祖から伝えられた言葉を知っていて、教えて下さる皆さんに感謝です。

「蔵王の山に水引入道」が見えた。これは田おこしをし、田んぼに水を引く目安にした先人の知恵から出た言葉だそうです。

『五月綿入』

話は変わりますが、今年も大河原町のさくら祭り期間中、旧渡辺酒店さんのご好意で場所をお借りして、『ほっとあい夢ステーション・お休み処』を開店しました。この期間中、町内外から千三百十六人のお客様が来店して下さいました。

裏面に掲載しました河北新報の記事は、その中のお一人の方からのメッセージです。そしてその桜の花のコースターを作って下さったのは、通所介護ほっとあいと、土曜サロンの利用者の皆さんです。皆さんのボランティアでこんなに喜んで頂けました。ありがとうございます。来年のさくら祭りの際にも宜しくお願ひしますね。

4月の活動風景

壁のオブジェ、一ヶ月かけて完成した「春の小川」からの若葉に情景が移ってきております。「花紙折」「塗り絵」「切り絵」指先を使って、自分のできることで全員参加で行いました。

クラブ活動では、習字や詩を朗読したり、また俳句を作ったり、水彩で花の絵を描く等々…多様な活動をしております。

五月の行事

- ・誕生会 ・紙芝居
- ・皆で一緒に歌おう
- ・ハーモニカ演奏会
- ・買い物に行こう
- ・避難訓練



またお花見ドライブや、ほっとあい夢ステーションでの「コーヒーと団子」でのお茶会、堤土手でお弁当を持っての花見等、お天気・交通混雑等の状況を見ながら行いました。

河北新報 「声の交差点」

コースターに小さな心遣い

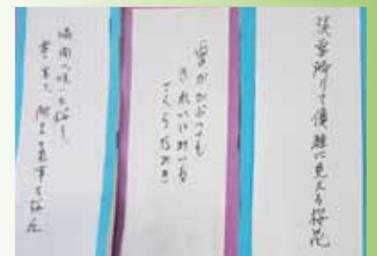
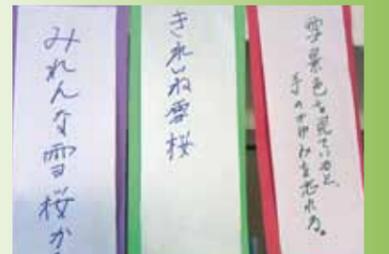
向田美紀子 47歳（仙台市太白区・主婦）

長く寒かった冬も終わり、桜の季節が巡ってきました。春の日差しに誘われて先日、宮城県大河原町の一目千本桜を見に行ってきました。遠くに蔵王を望み、連なる桜がとてもきれいで見事でした。

大河原駅前のNPO法人「ほっとあい」が運営する喫茶店に足を止め、おいしいお団子セットをいただきました。運ばれてきたお茶に、ピンクの紙を桜の形に切り抜いたコースターが敷かれていました。

とてもすてきな心遣い。お店の方に伺ったら、デイサービス利用のお年寄りの方々が作られたのだとか。コースターには年輪と優しさを感じさせる字で、「あなたの幸福 ひたすら願っています」と書かれていました。

皆さんの心遣いが旅人の心をどれほど和ませてくれたことが。コースターとして使うのはもったいないので、小さな額に入れて壁に飾っておこうと思っています。



NPO法人ほっとあいからのご案内

「ほっとする・あったかい・助け合い・愛」

特定非営利活動法人ほっとあいは、平成10年の設立時より「住み慣れた地域で暮らしたい」と願う人々の思いに寄り添いながら活動を続けてまいりました。

その時々様々なニーズに対応するために多様なサービスを展開しています。

みなさまのまわりで、ほっとあいを必要とされる方がいらっしゃいましたら、担当の者までお声がけ下さい。

自主事業(住民参加型在宅福祉サービス)

- ・ファミリーサポートホームヘルプサービス
- ・外出支援・移動サービス
- ・ほっとあいの家(デイケア・ナイトケア)
- ・おしゃべりサロンほっとあい(毎週土曜日)

介護保険事業

- ・居宅介護支援・訪問介護・通所介護

障害者自立支援法

- ・ホームヘルプサービス

行政委託事業

- ・軽度生活支援・障害者等移動支援
- ・障害者等一時預かり

各事業の担当者がご相談を承ります。 ☎0224-52-8555